

2011 年度・障害者雇用に関するアンケート調査

全人口の5パーセントを占めるとも言われる障害のある人の雇用は、今や人間尊重を標榜する経営者団体として避けることの出来ない課題です。

中小企業家同友会では、障害のある人の雇用を通じて、共働意識に富んだ企業風土の醸成や、共に育ちあうことによって企業経営が前進していく事例を幾度となく紹介してまいりました。また、地域と共に歩む中小企業として、雇用や教育活動等を通じて地域に貢献していくことは、中小企業自身が存続する基盤にもなり得ることも学んでまいりました。

このアンケートは、現在の会内における障害者雇用の実態調査を行うとともに、今後の会員企業の障害者雇用促進の一助とし、あわせて障害者に対する関心を高めていくために行うものです。障害者問題委員会では、現在雇用されている企業が抱える問題や悩みに応える活動も計画しています。是非ご協力のほどお願い申し上げます。

4月25日(月)までに、登録・変更カードとあわせて返信用封筒で郵送、もしくはFAXで(表裏とも)ご回答下さい。

同友会事務局 FAX 086-225-3662

以下の設問の該当箇所の()に○印をおつけいただき、記入欄には設問に関してお答えいただきますようお願い致します。

回答集計データは、会報紙『COM』やホームページ上での公開を予定しています。また、マスコミ、関係省庁、障害者団体、障害者施設、教育機関等から問い合わせがあった場合の、基礎データとして用います。その他、職場実習受け入れなどの際、ご案内の参考にさせていただきます。

尚、個人情報保護法の関係上、個別企業名や個人名は公表しません。

Q 1、障害者雇用に関して

- ①() 現在雇用している ②() 過去に雇用していたことがある ③() 雇用したことはない

Q 2、障害者手帳の交付が無い障害をお持ちの方に関して(発達障害等)

- ①() 現在雇用している ②() 過去に雇用していたことがある ③() 雇用したことはない

Q 3、今後の障害者雇用について(手帳の交付の無い上記の方も含む)

- ①() 是非雇用したいと考えている ③() 雇用は考えられない
②() 機会があれば将来雇用したいと考えている ④() わからない

Q 4、前の設問で③および④と答えた方にお聞きしますが、その理由について(上位三つ選択)

- ①() 障害者との接点がない ⑦() 仕事の内容が危険で適さないと考えている
②() 行政の助成制度などを詳しく知らない ⑧() 以前、雇用が長続きしなかった
③() 障害者に適した仕事が見つからない 「⑧の理由:」
④() 仕事の効率を考えると受け入れができない ⑨() 法的義務がない
⑤() 雇用するだけの仕事量がない ⑩() どう対応したらよいかわからない
⑥() 受け入れる設備等がない ⑪() 障害者手帳を交付されていないから
⑫() その他「」

Q 5、障害者委員会では、雇用体験報告やオブザーバーの方々との懇談会などで意見交換をしていますが、委員会に対する要望があれば○印を付けて下さい。(複数回答可)

- ①() 障害者雇用について知りたいので、雇用に関する学習会の頻度を増してほしい。
②() 支援施設や障害者雇用をしている企業を訪問し、実状を把握したい。
③() 障害者雇用を考えているので、具体的な相談に乗ってほしい。
④() 雇用以外の連携や支援について知りたい(作業所への発注や職場実習、障害者に資する商品開発など)。
⑤() その他

- ⑥() 特に関心はない「理由:」

Q 6、あなたの会社の業務・作業等、内容を詳しく教えて下さい。

() 業

裏面に続く→

Q 7、現在、障害者雇用をしている方にお尋ねします。

1) 障害の種類と人数をお書き下さい。

知的障害者 () 名 精神障害者 () 名 身体障害者 () 名 重複障害者 () 名

2) 雇用されたきっかけは何ですか。(複数回答可)

- ① () 職安からすすめられて ⑥ () 障害者を雇用すると助成措置があるから
② () 養護学校等の先生の紹介で ⑦ () 障害のない人に劣らぬ(それ以上の)能力があるから
③ () 親戚、知人等から頼まれて ⑧ () 企業の社会的使命、地域貢献、道徳的観点から
④ () 実習の結果を評価して ⑨ () その他

3) 障害者雇用によって会社になどのような変化がありましたか。(良い点、問題点など)

4) 障害者雇用に関して、悩んでいること、相談したいことがありましたらお聞かせください。

Q 8、現在、障害者雇用をしていない方にお尋ねします。障害者の雇用ができない理由はなんですか？また、どうすれば雇用が可能になるとお考えですか？

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校の職場実習受け入れについて

対象者／ 軽度の知的障害があり、高等学校段階にある生徒さん(職場に自分で通勤できる方)。
期 間／ 企業側と学校等の調整で決めていきます。(基本的には6月～7月、10月、2月の時期に2週間程度継続して実施。直近では7月上旬～中旬に実施予定)
内 容／ 障害の特性や企業の業種内容はさまざまなので、個別に学校と事前打ち合わせを行い決めていきます。その上で無理のない範囲で、作業内容を決定します。
(例：軽作業、清掃、洗濯、商品陳列、検品作業、梱包作業、入力作業等々)
実習とは・・・働く習慣や働くことの厳しさ、よろこび、職場でのルールやマナー、職場の人たちとの関わり方など、実際の職場での体験を通して学習し、働く意欲や働く力を身につけていきます。
※“実習受け入れ＝雇用”が、条件ではありません。

Q 9、今までの障害者の実習受け入れ実績

- ① () 定期的に受け入れている「頻度：() 年に () 回程度」 ③ () 受け入れた事がない
② () 受け入れた事がある「回数：() 回」 ④ () 不明

※①②に○をつけた方：差支えなければ受け入れ元の学校などを教えてください ()

Q10、同校の実習受け入れについて

- ① () 是非、受け入れたい ③ () 機会・条件が揃えば、受け入れてもいいと思っている
② () 説明を聞いてから、検討したい ④ () 受け入れは、考えられない

※①～③までに○をつけてご回答いただいた方には、後日説明のご案内をさせていただく予定です。

以下に企業名をご記入いただければです。

ご協力ありがとうございました。今後とも障害者問題委員会の活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。差し支えなければ以下の情報をご記入下さい。個別企業名・内容を外部に公表することはありません。

業種／ 製造業 ()、卸売業 ()、小売業 ()、建設業 ()、飲食店 ()、運輸通信業 ()、
電気ガス水道業 ()、不動産業 ()、サービス業 ()、その他 ()

社員数／ 男性 () 名 女性 () 名 ※役員、パート・アルバイト含む

お名前

会社名